

学びの原理をレジリエンスに生かす

今年度はコロナ禍により、私たち教員にとって新たな挑戦の年になりました。先生方も対応に奔走されたことと思います。本学では学生の通信環境に配慮し、在宅授業として課題学習になりました。小学校「家庭科教育法」は、約150名が受講しています。家庭科への興味・関心、教職意欲に温度差がある上、在宅授業では主体的な学びが求められます。そこで、Webアンケートを用い、設問に解答しながら学習を進めることにしました。在宅授業に対する学生のコメントから見えてきたことは、米国の心理学者スキナーが提唱したプログラム学習にみられる「学びの原理」でした。

1つ目は「目的意識をもった学び（積極的反応の原理）」です。第1回は的外れな解答が見受けられました。そこで【設問意図】をつけたところ、「何を学ばよいかがあった」「ねらいがわかり、課題に取り組みやすくなった」の反応がありました。何のために何を学ぶのか、目的意識をもつことは学びに向かう力になります。

2つ目は「学びのつながり（スモールステップの原理）」です。前回のおさらい→今回の学習→振り返り、自分の考えを述べる→テキストを読んで考えを述べるなど、つながりを意識しました。「設問にそって無理なく学べた」「考えが深まるのを感じた」の反応で、学びをつなげることが理解や思考の深化を促していました。

3つ目は「学びの振り返り（即時確認の原理）」です。各回後に模範解答や正答率、受講生の解答例を示したところ、「自分の課題が見えてきた」「他の人の解答を見て、課題に取り組む意欲がわいた」「もっといろいろな考えを聞きたい」の反応でした。フィードバックを通して、つぎの学びに向かう意欲が刺激されていました。

コロナ禍でレジリエンス（resilience）が求められています。レジリエンスは回復力、適応力と訳されます。しかし、元の状態に戻るわけではありません。よりよい状態に飛躍する、つまり、困難な状況を強さに変える力です。学びの原理をふまえて、コロナ禍の経験を学習指導の更なる充実に生かしていくことが求められます。

Q.「これからの社会の中で、必要となる家庭科の力とは何ですか？ 一家庭科で育みたい資質・能力」

A. 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、生活をよりよくしようと工夫する力

□子どもたちがこれから生きる社会

子どもたちがこれから生きる社会は、どんな社会でしょうか？ 思いつくキーワードを挙げてみましょう。少子高齢社会、グローバル社会、他文化共生社会、環境共生社会、情報社会・・・などが思い浮かぶことと思います。

第5期科学技術基本計画において Society 5.0 が提唱されました。Society 5.0 とは、狩猟社会 (Society 1.0)、農耕社会 (Society 2.0)、工業社会 (Society 3.0)、情報社会 (Society 4.0) に続く新たな社会を指すもので、サイバー空間 (仮想空間) とフィジカル空間 (現実空間) を高度に融合させたシステムにより「経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会 (Society)」です。

情報化やグローバル化など、急激な社会変化の中で未来の創り手となるために必要な資質・能力を、学校教育で確実に備えることが求められています。

□家庭科で育みたい資質・能力

6月、Twitter に、つぎの投稿がツイートされました。先生方は、どのように感じられるでしょうか。

小6の家庭科の授業で洗濯物を手で洗う実習があったらしい 「家でもやってみましょう」とのこと それは歴史の授業でやってくれ 家庭科は「洗濯機の使い方」「干し方」「乾燥機にかけていいかどうかの見分け方」とかをやってくれ あと「服に付いた墨汁の落とし方」を教えて、自分でやれと言ってくれ

このツイートに対して、

- ・洗濯機の使い方！大事ですね 子どもだと意外と洗剤の量とかわからないみたいですね
- ・あと、上履きを洗う実習もやって欲しい
- ・靴下を手洗いしたのを思い出したけど、たしかに今の時代、この人の言ってることのほうが役に立つよなあ・・・
- ・これ、本当にそう思います！アイロンの掛け方とか、健康保険の手続きとか、すぐに役立つ事を学校で教えて欲しいですね
- ・家庭科って実生活で役に立たんことしか教えんよな www
- ・なんで洗濯機が各家庭に当たり前においてある令和で手洗いをしなきゃいけないのか... そうか！震災で洗濯機が使えない時のことを想定しているんだ！！

という意見もあれば、

- ・洗濯物の手洗いはやって見るべき。いろいろ考えさせられることが多いし、旅先でも役立つ
- ・手洗いは洗濯機を使う上でも重要になってまいります (部分洗い) ので、有意義な

授業だったと思ってますよ

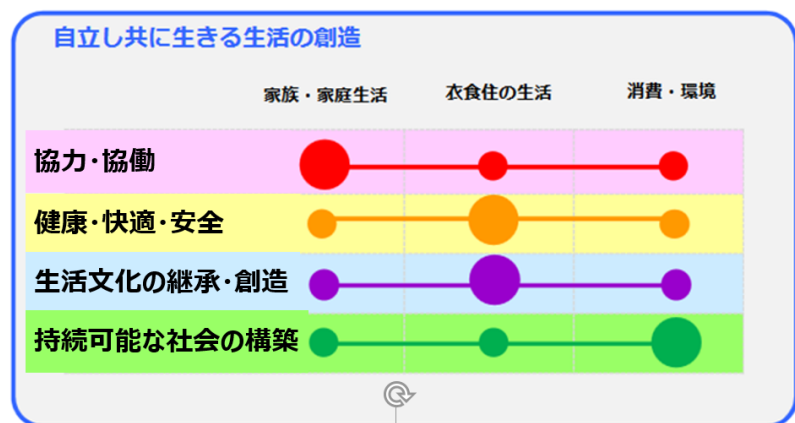
- ・家庭科の授業で受けるのはライフラインも途絶えた最低限の状態でも使えることも含めて授業を行う必要があると思うけどな
 - ・洗濯機の使い方なんてメーカーによって異なるし、小学校って物事の基礎を教えるところだよ
 - ・算数は「電卓の使い方」国語の漢字は「P C, スマホの変換方法」社会は「wikipediaの閲覧方法」を教えると言ってるのと同じ事ですよ？なんでおかしいって気付かないんだろう？
 - ・まあ平たく言って洗濯の仕方は家庭で教える事なんだがなあ・・・
 - ・それこそ家で手伝いを通して普通に教えられるやろ(笑)
- という意見もありました。

子どもたちがこれから生きる社会は、これまでとは異なる未知の世界です。

家庭科教育に期待されていることは、家族・家庭生活の多様化や消費生活の変化等に加えて、グローバル化や少子高齢化の進展、持続可能な社会の構築等、今後の社会の急激な変化に主体的に対応することができる資質・能力を育成すること、すなわち、生涯にわたって、自立し共に生きる生活を創造できるよう、よりよい生活を営むために工夫する力を育成することです。

「いま」「すぐに」「この場で」役に立つ力が、生涯にわたって豊かな生活を創り出す力になるわけではありません。

家庭科では「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせます。家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、生涯にわたって、自立し共に生きる生活を創造できるよう、よりよい生活を営むために工夫する力、すなわち、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、生活をよりよくしようと工夫する力が、これからの社会の中で必要となる家庭科の力であるといえます。



(静岡大学大学院教育学領域准教授 小清水貴子)

【連絡事項】

東海・北陸地区小学校家庭科教育研究大会について 本年度は紙上発表になりますが、資料を希望される方は各自申し込んでください。資料代・郵送料はかかりません。